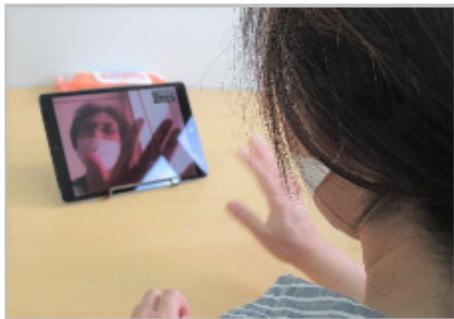


高野
山麓

橋本新聞

入院患者・テレビ面会OK♪20日～橋本・紀和病院



新型コロナウイルス感染防止のため、入院患者と家族の面会を禁止している、和歌山県橋本市岸上の医療法人南労会「紀和病院」は5月13日、タブレット端末を使った「テレビ面会」のテスト運用を実施した。

その結果、入院患者・家族に楽しい面会時間を提供できたので、同病院では5月20日から本格運用を始めることにした。

同病院の入院患者数は247人。新型コロナ感染拡大の中、やむを得ず、患者・家族の面会は2月21日から二親等までとし、4月16日以降は全面禁止の措置をとった。

家族からは「手術後の病状が知りたい」、職員からも「早く顔を見せてあげたい」という声が上がり、同病院専用のタブレット端末による「テレビ面会」を考えたという。

この日、同病院別館に設けられた、テレビ電話専用室で、主婦(54)が机上のタブレットを見ていると、5月11日の手術の後、会えなくなっていた入院

療養中の母(76)の顔が、さっと画面上にクローズアップ。

2人とも感激しながら「お母さん、痛くないの」「痛くないよ、大丈夫」「ご飯は」「美味しいよ」と言った調子で、お互いマスク着用で、目が笑い、手を振り合っていた。

同病院・紀和ブレスト(乳腺)センター長の梅村定司(うめむら・ていじ)医師は「家族にとって、手術後のお母さんの顔を見るこどもできず、とても心配されていたはず。お二人ともテレビ面会を喜んでくれたので、よかったです」と話した。

同病院では「テレビ面会」(無料)を5月20日から毎週火、水、木曜日の午後2時～同4時に実施。面会は1日5組(1組10分間)で、事前予約が必要。

写真(上)は手術後・入院中の母と「テレビ面会」して手を振る主婦。写真(中)入院病棟の部屋からタブレット画面を通じて長女に語りかける母親。写真(下)は橋本市の医療法人南労会「紀和病院」。

2020年(令和2年)

5月14日木曜日

新型コロナウイルスの感染防止のため、和歌山県橋本市の紀和病院で13日、入院患者と家族がインターネット通話「スカイプ」を使ってタブレット端末越しに面会するテストが行われた。20日から本格運用を始める。

同病院では4月16日から患者との面会を禁止。患者の家族から「会えない」と不安が募る」との声が届き、オンラインでの面会を発案した。病院の別館1階の個室で、奈良県五條市の女性(54)が、病院から借りた端

末に映る母親(76)に「ご飯食べてるか」などと語りかけると、母親が手を振つて応じていた。

母親は11日に手術を受けたばかりで、女性は「本当に付き添いたかったけど、会えなくて心配だった。元気そうな顔を見て安心した」と話していた。

新型コロナウイルス対策で直接の面会を禁止している医療法人南労会紀和病院(橋本市)は、入院患者や家族らが専用タブレットを通して会話できる「タブレット面会」を導入し、20日から本格運用を始める。

インターネット電話を活用し、専用タブレットで相手の顔を見ながら会話できるようにした。

女性は「11日に手術した母とは退院するまで会えないと喜んだ。院内は新型コロナウイルス対策として4月16日から直接の面会を禁止している。13日には、入院中の母親が、入院患者の家族らから

家族とオンライン面会 和歌山 病院タブレットで



端末を通じて、入院中の母親と会話する
女性(和歌山県橋本市の紀和病院で)

令和2年(2020)日刊27777号

5|14 [木]

産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN
発行所 ©産業経済新聞大阪本社 2020
〒556-8660 大阪市浪速区湊町2-1-57
電話 (06)6633-1221(大代表)

「タブレット面会」導入 橋本・紀和病院 20日から運用



専用タブレットを通して会話できる紀和病院の「タブレット面会」=橋本市

画面に「ご飯食ってる？」



タブレット端末の画面に映った母親に向かって手を振る女性＝橋本市岸上の医療法人南労会紀和病院別館で

いたのでうれしい。お母さんの顔を見られて安心した」と話していた。

紀和病院によると、「手術後の病状を知りたい」といった家族の声や、職員からも「患者さんに家族の顔を見せてあげたい」との声があり、直接の面会に代わる方法を検討したという。

同病院では5月13日現在、252人が入院している。入院患者との面会は、2020年2月21日から二親等以内に限り、4月13日からは県外からの面会を禁止、同16日からは県内の人も禁止している。【藤原弘】

新型コロナウイルスの感染予防のため面会を禁止している橋本市の紀和病院（280床）は、入院患者と家族がタブレット端末を使い、画面越しに話すことができるオンライン面会を20日から導入する。13日、試験的に面会を実施した。

同院は4月16日から面会を禁じているが、「術後の病状を知りたい」などという要望が家族から寄せら

ト端末導入へ
れ、導入を決めた。

20日から紀和病院
テレビ面会実施へ

新型コロナウイルスへの感染防止のため、入院患者への面会を禁止している橋本市の医療法人南労会紀和病院は、13日、相手の顔を見ながら会話できるインターネット電話アプリ「スカイプ」を使って、「テレビ面会」を行った。この日は、奈良県五條市の女性(54)が同病院別館の一室に入り、病室の母親(76)とタブレット端末の画面運用した。20日以降、火曜・木曜の午後2~4時に1回10分程度で本格的に実施する予定だ。事前予約が必要。

面を通じて約10分間話した。女性が「ご飯食ってる？」と問いかけると、母親は「全部食ってる」と返答。会話を弾ませ、互いに画面に向かって手を振った。母親は5月10日から入院しているといい、女性は「退院するまで会えないと思って

每日新聞

5月15日(金)

2020年(令和2年)

画面越しの面会



入院中の母親とタブレット
端末の画面越しに面会する
長女＝13日、橋本市岸上

朝日新聞

2020年(令和2年)

5月15日

金曜日